



日本の宝島“天草”の創造を目指して！

市政だより AMAKUSA 天草

「あつ、それキレイだね」一足早い春をスケッチ！
3月7日、自生する約2万本のヤブツバキが咲きほころぶ西平椿公園で「第19回あつたか天草椿まつり」が開催されました。「あつたか」には、冬から春へ季節の移り変わりがあつたかと、こんなイベントがあつたかという語呂をあわせています。当日は、少し肌寒い一日でしたが、一足早い春を感じに多くの人が訪れ、ステージやバザー、スケッチ大会などのイベントを楽しみました（10ページに関連記事）。



主な内容

- 後期高齢者医療保険料率 2～3
- 議会報告 4～5
- 「天草市消費生活センター」を開設 6
- 栖本まちづくり協議会・オリジナル商品作り・・ 7
- 宝島の話 8～11
- みんなの広場 12～15

平成22年

4

1

No.96

保険料の納付方法

保険料は、年金からの差し引き（特別徴収）または納付書や口座振替、納税組合を通じての納付（普通徴収）となります。

また、現在、年金受給額が年額18万円以上の人で、平成21年4月2日以降に75歳の誕生日を迎えた人は、4月から下表のとおり順次“特別徴収”になりますのでお知らせします。

なお、年金からの差し引きが原則ですが、申し出により口座振替に変更することができま

す。口座振替を希望する人は、金融機関での手続き後に渡される『口座振替開始依頼書の控え』、『後期高齢者医療被保険者証』と『印かん』を持参し、市役所本庁・保険年金課または牛深支所・市民課、その他の支所・市民生活課で手続きを行ってください。

すでに『保険料納付方法変更申出書』を提出している人は、再度手続きをする必要はありません。

75歳の誕生日	普通徴収の月	特別徴収の開始月
平成21年 4月2日～同10月1日	該当なし	4月から
平成21年10月2日～同12月1日		6月から
平成21年12月2日～同22年2月1日	6・7月	8月から
平成22年 2月2日～同3月31日	7・8・9月	10月から

保険料額の通知

■特別徴収の場合

4月から8月までに特別徴収が開始になる人には、4月中旬に「特別徴収開始通知書」を送付します。

また、2月に特別徴収されていた人は、平成21年7月に送付した「保険料額通知書」

で4月から8月までの特別徴収金額をお知らせしていますので、今回は通知しません。

なお、10月以降の特別徴収額については、7月中旬に通知します。

■普通徴収の場合

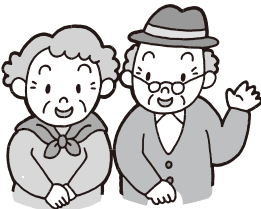
平成21年度の保険料の支払いが特別徴収されていない人や平成21年12月2日から同22年2月1日までに75歳の誕生日を迎えた人などには、「暫定賦課保険料額の通知」を6月中旬に送付します。これは、平成21年

度の保険料額をもとに暫定的に賦課した額です。1回分の納付通知ですので、納め忘れないようご注意ください。

なお、平成22年度の保険料の決定については、7月中旬に通知します。

●暫定保険料算出方法

暫定保険料＝平成21年度年間保険料額 × $\frac{1 \text{ (暫定納期数)}}{9 \text{ (普通徴収の全納期数)}}$



所得の変更により保険料や一部負担金が変わる場合があります

過去にさかのぼって所得が変わる場合は、過去の保険料や一部負担金の額も変わりますので、差額分の納付書が届く場合があります。

※『後期高齢者医療制度』についての詳しいことは、市役所本庁・保険年金課医療係 ☎231111（内線1135）または熊本県後期高齢者医療広域連合 ☎096-368-6511へ。

平成22・23年度の
後期高齢者医療保険料率が決まりました

『後期高齢者医療制度』は、75歳以上（一定の障がいがある人は65歳以上）のすべての人を対象とする医療保険制度です（社会保険加入者などに扶養されている人も同制度の被保険者となります）。

今回、平成22・23年度の保険料の均等割額と所得割率が決まりましたので、お知らせします。

保険料の額

熊本県の均等割額と所得割率(平成22・23年度)

均等割額(年額) 47,000円	所得割率 9.03%
---------------------	---------------

被保険者1人当たりの保険料（年額）は、被保険者が均等に負担する「均等割額」と被保険者の所得に応じた「所得割額」を合計した額になります（保険料の計算方法を参照）。

なお、均等割額と所得割率は県内均一で、2年ごとに見直しがあります。

保険料(1人当たり)の計算方法

均等割額 47,000円	+	所得割額 (課税所得) × 9.03%(所得割率)	=	保険料 上限50万円(年額)
-----------------	---	------------------------------	---	-------------------

※課税所得…前年の所得(年金や個人事業などの収入から、その収入を得るために必要とした経費〔年金の場合は年金所得控除〕を差し引いた額)から、基礎控除33万円を差し引いた額。

保険料の軽減

所得が低い人や社会保険の被扶養者であった人の保険料は、平成22年度も継続して軽減されます。

①均等割額の軽減

世帯主とその世帯の被保険者の所得の合計が一定以下の場合は、保険料の均等割額が下表の基準により軽減されます。

軽減割合	世帯（世帯主と被保険者）の総所得金額など
9割	33万円を超えない世帯で、被保険者全員が年金収入80万円以下(その他各種所得がない場合)
8.5割	33万円を超えない世帯
5割	33万円+24.5万円×被保険者数(被保険者である世帯主を除く)を超えない世帯
2割	33万円+35万円×被保険者数を超えない世帯

②所得割額の軽減

所得割額算定にかかる基礎控除後の総所得金額などが58万円以下の人について、所得割額を一律5割軽減します。

③社会保険の被扶養者軽減

後期高齢者医療制度に加入する前日に社会保険の被扶養者になっている人は、資格取得日の属する月から2年間、保険料の所得割額の負担はなく、均等割額の5割のみの負担になります。

なお、当分の間は保険料の均等割額が9割軽減され、所得割額はかかりません。

●所得の申告をしないと？

後期高齢者医療保険料の軽減（均等割額の軽減・所得割の軽減）が適用されません。

また、医療機関の窓口での負担額などにも関係してきますので、必ず申告してください。

平成22年度一般会計予算など 65議案を議決

平成22年第1回市議会定例会が2月8日から19日間の日程で開かれ、天草市学校教育施設整備基金条例の制定や歳入歳出の予算総額486億4,995万円とする平成22年度天草市一般会計予算など61議案がいずれも原案のとおり可決されました。また、人権擁護委員の候補者の推薦について同意され、同26日に閉会しました。

可決された議案

- ▼天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について——乳児訪問員の報酬額を新たに定める等の改正を行うもの。
- ▼天草市立保育所条例及び天草市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について——児童福祉法の一部改正に伴うもの。
- ▼天草市新和ひだまり館条例の制定について——新和高齢者生きがい研修センターを廃止し、新たに新和ひだまり館として設置するもの。
- ▼天草市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について——

条文の整備を図るもの。

- ▼天草市学校教育施設整備基金条例の制定について——旧牧島小学校校舎等の売却に伴い、文部科学省の通知に基づき新たに基金を設置するもの。
- ▼天草市学校林設置条例の一部を改正する条例の制定について——中学校の統合に伴い、廃校となる本渡中学校及び本町中学校の学校林を廃止するもの。
- ▼天草市体育館条例の一部を改正する条例の制定について——中学校の統合に伴い、廃校となる本町中学校及び佐伊津中学校の体育館を社会体育施設として市民の利用に供するもの。

- ▼天草市学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例の制定について——中学校の統合に伴い、新たに設置される本渡中学校の体育館を市民の利用に供するもの。
- ▼天草市運動広場条例の一部を改正する条例の制定について——中学校の統合に伴い、廃校となる本町中学校及び佐伊津中学校の運動場を社会体育施設として市民の利用に供するもの。
- ▼天草市社会体育夜間照明施設条例の一部を改正する条例の制定について——中学校の統合に伴い、廃校となる佐伊津中学校の運動場を社会体育施設として市民の利用に供するもの。

- ▼天草市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について——瀬戸幼稚園を廃止するもの。
- ▼天草市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について——牛深小学校の改築工事に伴い仮設校舎を設置することに伴うもの。
- ▼天草市公民館条例の一部を改正する条例の制定について——宮田公民館に陶芸室を設置することに伴うもの。
- ▼天草市ふれあいセンター条例の一部を改正する条例の制定について——

- 久玉町大之浦いきいきふれあい館を廃止するもの。

- ▼天草市立天草切支丹館条例の一部を改正する条例の制定について——同館の改築移転に伴うもの。

- ▼天草市立歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例の制定について——本渡歴史民俗資料館及び五和歴史民俗資料館に係る休館日に関する規定を改めるもの。

- ▼天草市立御所浦白亜紀資料館条例の一部を改正する条例の制定について——観覧料に関する規定等を改めるもの。

- ▼天草市立天草コレジヨ館条例の一部を改正する条例の制定について——同。

- ▼天草市立天草ロザリオ館条例の一部を改正する条例の制定について——同。

- ▼天草市立天草玩具資料館条例の一部を改正する条例の制定について——農地法の一部改正に伴い、標準小作料制度が廃止されたことに伴うもの。

- ▼財産の取得について——本渡地区の中学校のパソコン及び周辺機器の購入に伴うもの。
- ▼工事請負契約の変更について——

本渡中学校プール棟建築工事請負契約について、設計図書の変更に

- に伴い、契約金額を増額するもの。
- ▼苓北町と天草市との間の汚泥脱水等の事務委託の廃止について——苓北町と天草市との間の汚泥脱水等の事務委託を廃止するもの。
- ▼市道路線の廃止及び認定について——廃止する路線Ⅱ1路線、認定する路線Ⅱ16路線。

- ▼平成21年度天草市一般会計補正予算（第8号）——国の経済対策等や各事業費が確定したことなどにより、歳入歳出の予算総額にそれぞれ27億3,638万7千円を増額し、581億8,760万5千円とするもの。

- ▼平成21年度天草市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- ▼平成21年度天草市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ▼平成21年度天草市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ▼平成21年度天草市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
- ▼平成21年度天草市浄化槽市町村整備推進事業特別会計補正予算（第

- 2号）
- ▼平成21年度天草市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

- ▼平成21年度天草市国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第3号）
- ▼平成21年度天草市埠頭事業特別会計補正予算（第1号）
- ▼平成21年度天草市斎場事業特別会計補正予算（第1号）
- ▼平成21年度天草市水道事業会計補正予算（第3号）

- ▼平成22年度天草市一般会計予算——歳入歳出の予算総額をそれぞれ486億4,995万円と定めるもの。
- ▼平成22年度天草市国民健康保険特別会計予算
- ▼平成22年度天草市老人保健医療特別会計予算

- ▼平成22年度天草市介護保険特別会計予算
- ▼平成22年度天草市後期高齢者医療特別会計予算
- ▼平成22年度天草市公共下水道事業特別会計予算
- ▼平成22年度天草市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算
- ▼平成22年度天草市農業集落排水事業特別会計予算

議員提出

- ▼天草市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
- ▼永住外国人に対する地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出について

同意された議案

- ▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（4件）——委員に次の皆さんを推薦することに同意。坂田文香氏（久玉町1317番地12）、中元隆一氏（新和町小宮地468番地13）、新木美知江氏（新和町碓石1201番地3）、川上眞理子氏（天草町大江6494番地）。

採択された請願

- ▼外国人地方参政権付与法案提出に反対する意見書採択を要望する請願書

趣旨採択された請願

- ▼貸切バス事業における安心・安全な運行を確保するための請願書

不採択となった請願

- ▼「所得税法56条の廃止」を求める意見書提出に関する請願書
- ▼後期高齢者医療制度の速やかな廃止と保険料値上げ中止を求める請願書

※詳しいことは、本庁・総務課総務法制係 ☎11111（内線1212）へお尋ねください。

栖本を誇れる まちにしたい

一 栖本まちづくり協議会・
 オリジナル商品作り 一

6,000個を超えるかっぱ人形を製作 江崎正博さん

志柿町に住む陶芸家の江崎さんは、栖本オリジナル商品の中で、陶器製のかっぱ人形製作をすべて担当しています。写真は「カッパワー君」を作るようす。1つずついいねいに土を成形し、縦・横約3cmの人形に仕上げる工程は、繊細な指先の感覚を必要とします。江崎さんは、「手作りなので、世界に2つとない“かっぱ”ができあがります」と話していました。



▲ていねいに土を成形する江崎さん



▲楽しそうにひもを編む渡辺さん

「私にとって手芸はいきがい。楽しくて全然苦にならないです」と笑顔を見せるのは、手芸が趣味の渡辺さん。『へのかっぱストラップ』と『へのかっぱお守り』のひも細工を担当するメンバーの1人です。このひも細工は、数本の糸を何度も繰り返し編み込んで1本のひもを作り、色とりどりのビーズを飾り付けたものです。自宅でもできるこの作業には、渡辺さんのほか3人の人たちがたずさわっています。

手芸は私のいきがい
 渡辺ユキノさん

自分たちの得意分野をいかして

渡辺章さん・梅田正さん

地元で大工をしている渡辺さんと建設会社勤務の梅田さんは、「へのかっぱ人形」の竹製の土台を作っています。この土台は、栖本産の真竹を使用。火であぶって余分な水分や油分を取り除いた後、表面がなめらかになるまでやすりをかけて仕上げます。梅田さんは、「手間がかかるが、きれいな色つやが出るんですよ」と話していました。



▲作業をするようす(写真左が渡辺さん、同右が梅田さん)

栖本オリジナルの“甘味”も、ぜひご賞味を



【ひまわりポテト】



【へのかっぱ巻き】

お問い合わせは、栖本まちづくり協議会事務局(栖本支所・総務振興課内) ☎03111まで

安心・安全で豊かなまちを目ざし

『天草市消費生活センター』を開設しました

近年、市では消費生活に関するさまざまなトラブルが絶えず、相談件数も年々増加している状況です。最近では、パソコンや携帯電話を使った「架空請求」「不当請求」などの悪質な手口や「多重債務(借金問題)」「融資詐欺」などの深刻な事例が多数寄せられています。

このような中、市では3月1日に『天草市消費生活センター』を開設し、商品購入に関するトラブルや多額の借金をかかえてお悩みの人に対して、専門の相談員が問題解決に向けてのアドバイスを行っています。

相談は無料で、秘密は固く守られます。消費生活についてのトラブルに巻き込まれたりしたときにはひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。

■開所日＝月～金曜日(ただし祝日・年末年始を除く)

■開所時間＝午前9時～正午／午後1時～同3時

■相談窓口＝天草市消費生活センター

(本庁〔別館〕・教育棟1階)

■相談電話＝☎1111(内線2645)



▲市消費生活センターに看板を設置する
安田市長と相談員の皆さん

消費生活出前講座を
 実施しています



「くらし(消費生活)について勉強したい!」という市内の地域団体やグループなどを対象に、悪質商法や商品契約に関する問題、金融や製品安全など消費生活に関する「出前講座」を実施しています。地域やグループの勉強会、職場内の学習会、学校行事などで、ぜひご利用ください。

▼対象Ⅱ市内に在住・在勤または在学している人の団体やグループで、おおむね10人以上が参加する予定の集会など。

▼開催日Ⅱ消費生活相談員が勤務する平日の午前9時から午後3時まで。

▼費用Ⅱ無料。

※申込方法など詳細は、本庁(別館)・商工観光課商工振興係 ☎2111(内線2645)へお尋ねください。

～消費生活相談員を紹介～

同センターには常時2～3人の専門の相談員が待機し、皆さんの相談に応じています。



はしの きみか
橋野 君佳

私は、合併し天草市となった平成18年から消費生活相談員として勤務してきました。その体験を通して『広域な面積に地域が点在し、高齢化率の高い本市では、消費者サイドに立った行政のサポートは欠かせない』と実感したところです。

今後は、国民生活センターとも直接つながるようになりましたので、頼れる相談員を目ざしたいと思います。



いわさき いちろう
岩崎 一郎

数年前に家庭電器メーカーを定年退職し、天草に帰ってきました。昨年7月に相談員を拝命し、消費生活に関わる法律などを学び直し、対応能力のレベルアップに努めているところです。主な担当分野としては家電製品や製品安全、インターネットなどです。

悪徳業者の手法は日々進化していますので、相談員も新化・深化で対応していきます。



まつもと はまこ
松本 浜子

昨年7月から嘱託職員として勤務しております。9月から消費生活相談員養成講座に通い、全25回の研修を受け今年2月24日に終了しました。

今後は、研修の成果をいかしながら、さまざまな消費者トラブルに対応できるようにがんばります。

心配な事があったら、いつでもご相談ください。お待ちしております。



▲力強いばちさばきを見せる児童たち

できたよ！伝統の“栖本太鼓踊り”

～栖本小学校・学習発表会～

2/28
栖本

2月28日、栖本小学校で「学習発表会」が行われました。これは同校が、学校で学んだ成果を保護者などに見てもらおうと毎年実施しているもの。発表会では、各学年や合奏部による歌や劇などが披露される中、郷土芸能を体験しようと希望した6年生17人が“栖本太鼓踊り”の衣装で登場。約1カ月間にわたり、地元青年団員からの指導を受けてけいこに励んだ児童たちは、伝統の勇壮な踊りを一生懸命に演じ、会場からは大きな拍手が送られていました。

目ざすは3カ月後の健康体

～しんわ健康教室～

3/2～
新和

3月2日、新和町民センターで「しんわ健康教室」が開かれ、“健康になりたい、ダイエットしたい”と考えている地区住民20人が参加しました。これは、市体育指導委員協議会・新和支部と市が共催しているもの。参加者は、体力測定と市栄養士からの食事指導で日ごろの体調を確認。また、同9日には、運動指導員による歩行や運動方法についての実技指導を受講し『3カ月後の健康体になった自分』を目ざして、真剣に取り組んでいました。



▲下半身の強化に真剣に取り組む参加者

牛深の魅力を再発見

～牛深、文化と夢の「カタチ」交流会～

2/13・14
牛深

2月13・14日、『第1回牛深、文化と夢の「カタチ」交流会』が、牛深町の商店街にある空き店舗で開かれました。これは、牛深の宝である自然や文化を、都市部の人たちとの交流を通して再認識してもらおうと、牛深商店街振興組合が実施。会場では、子どもたちが描いた絵や牛深出身の造形作家・gajuさんの作品などが展示されたほか、翌14日には、熊本県民テレビアナウンサーの村上美香さんを招いて講演会も行われ、多くの人出でにぎわいました。



▲「私の夢と目標」と題して講演を行う村上さん



▲元気に“火の用心”を呼びかける子どもたち

火事が起きませんように

～春季全国火災予防運動・防火パレード～

3/3
河浦

3月3日、一町田小学校少年消防クラブと一町田保育所ちびっこ消防クラブによる防火パレードが行われました。これは、同1日から7日までの“春季全国火災予防運動”にあわせて実施したもの。子どもたちは、同小学校からAコープ河浦店までの約300メートルの道のりを、『火の用心』の元気な掛け声とともに行進しながら、道行く人たちに防火を啓発する携帯用ティッシュを配布。また、同店駐車場では、住宅用火災報知機設置の呼びかけも行いました。



▲色鮮やかなひな人形を楽しむ来場者

色とりどりのひな人形などを楽しむ

～ひな人形展～

2/24～3/7
本渡

2月24日から3月7日まで、「ひな人形展」が天草宝島国際交流会館ポルトで開催されました。これは、3月3日の“ひな祭り”にあわせて行われたもので、今回が2回目。会場には、ひな人形約300体や保育園児が作成した絵などが展示され、来場者は色鮮やかなひな人形や絵画に見入っていました。また、期間中は、壁掛けひな人形や貝ひな、水引で作るおひなさまの製作体験講座も実施。参加者は、でき上がった作品を満足そうに眺めていました。

感動！イルカさんに会えたよ！

～イルカの花開き安全祈願祭～

3/6
五和

3月6日、二江のイルカウォッチング船発着所で、(社)天草宝島観光協会・五和支部主催による「イルカの花開き安全祈願祭」が開かれました。式典では、地元の関係者などがイルカの生息環境保護と海上での安全を祈願したあと、五和町内の保育園児や保護者など、約100人を招待してイルカウォッチングを実施。イルカが元気良くジャンプする姿に、参加者からは大きな歓声が上がっていました。このほか、イルカの絵作品コンクールの表彰式も行われました。



▲イルカに向かって手を振る子どもたち

力を合わせて元気な有明をつくろう！

～有明まちづくり発表会～

2/27
有明

有明まちづくり協議会主催の「有明まちづくり発表会」が2月27日、有明町民センターで開かれ、各地区振興会役員や地区住民など150人が参加しました。この発表会は、地区の実情や課題を再認識し、今後のまちづくりにおいて共通認識を深めてもらおうと初めて開催したもの。須子地区の“ふれあい市”や大浦地区の“ミカン（不知火）の木オーナー制度”など特色ある活動がそれぞれ発表され、参加者は、各地区の取り組みや成果を熱心に聞いていました。



▲地区代表の発表に耳を傾ける参加者

魅力的な地域づくりは『景観』から

～文化的景観シンポジウム～

3月7日、河浦町の富津公民館で、文化的景観シンポジウム「日本の漁村景観と天草・崎津」が開催され、地元住民など250人が参加しました。基調講演では、東京大学教授の堀繁氏が「漁村の味わい方と活かし方～日本の漁村と天草・崎津～」と題して話されたほか、水産庁や大学の研究者、地元NPO団体、市が参加してパネルディスカッションも実施。聴衆は、崎津の特徴を再認識し、魅力ある地域づくりの考え方と取り組みについて学んでいました。



▲崎津のPRのしかたなどを語る堀繁氏

冬晴れの新和路を駆け抜ける

～天草ロードレース大会～

2月21日、「第15回天草ロードレース大会」が新和町民センター前をスタート・新和支所前をフィニッシュとするコースで開かれ、5kmや10km、ファミリーの部などに市内外から447人が参加しました。これは、同町出身・浦田春生さんのバルセロナ五輪出場を記念して毎年実施しているもの。レースでは、県内外の有力高校の選手たちが熱戦を繰り広げたほか、親子が和気あいあいの中で走る姿も見られ、沿道からは盛んな声援が送られていました。



▲元気にスタートする10kmの部の選手たち

大空高く舞いあがれ！

～天草凧あげ大会～

2月28日、「第7回天草凧あげ大会」が栖本温泉センター先の広場で開催され、天草凧の会や熊本・長崎の凧愛好会、地元住民など約400人が参加しました。この大会は、天草凧の会が同会の発足を記念して毎年実施しているもの。この日は天候に恵まれ青空が広がる中、凧愛好会の皆さんが製作した自慢のバラモン凧や連凧、角凧など、大小さまざまな凧が大空高くあげられたほか、会場を訪れた人々もいっしょになって凧あげを楽しんでいました。



▲空高く凧をあげる参加者

女性の政治参加の歴史などを学ぶ

～女性の政治参加と市川房枝パネル展～

2月16日から同21日まで、「女性の政治参加と市川房枝パネル展」が天草宝島国際交流会館ポルトで開かれました。これは、女性の参政権運動に生涯をかけた市川房枝さんの取り組みを知ってもらおうと、「男女共同参画推進ネットワーク・つのでネット～風～」が県や市の協力を得て初めて実施したもの。会場には、市川さんが活動した当時の写真やポスターなどのパネル57点を展示。期間中は227人が訪れ、来場者は熱心にパネルに見入っていました。



▲パネルを見て思いをはせる来場者

春の訪れを西海岸で一足先に満喫

～あったか天草椿まつり～

3/7
天草

3月7日、大江の西平椿公園で「第19回あったか天草椿まつり」が開かれ、市内外から約1,500人の人出でにぎわいました。これは、同まつり実行委員会が、西平地区に群生するヤブツバキの開花にあわせて毎年開催しているもの。イベントでは、勇壮な西海荒波太鼓の披露や歌謡ショーのほか、椿油しぼりの実演、特産品の販売、もち投げなども実施。また、「椿ウォークラリー大会」も行われ、参加者は春の西海岸の自然と味覚を満喫していました。



▲勇壮な演奏を披露する西海荒波太鼓の皆さん

先人の知恵「防風石垣群」を学ぶ

～文化的景観講演会～

3/14
倉岳

3月14日、倉岳多目的研修集会施設で「文化的景観講演会」が開催され、地区住民など150人が参加しました。「防風石垣」をテーマにした講演会では、御所浦白亜紀資料館・長谷義隆館長と熊本大学・岩崎竹彦准教授が石垣群の魅力や観光資源への活用について話されました。また、女性2人のコーラスグループ・DOYO組によるコンサート“文化財の調べ”も実施。童謡を中心にした日本の風景を歌う美しい歌声に、会場は和やかな雰囲気になっていました。



▲DOYO組といっしょになって歌う子どもたち

地域を見つめ直し、驚きの連続！

～御領地区史跡探訪～

3/14
五和

御領の歴史や文化を学び地域を見直そうと3月14日、御領まちづくり振興会主催による「史跡探訪」が開かれました。昭和46年から続いている同探訪。この日は、地区住民など30人が参加して、郷土史の研究をしている五和町史談会・山本繁さんの案内で、塩屋大明神をはじめ約30カ所の史跡などをたどる約7kmのコースを散策。参加者は、「身近にある多くの歴史や文化に驚いた。もう少し地域のことを学んでみたい」と話していました。



▲山本さん(左)の説明を聞く参加者

天草御所浦ジオパークのボランティアガイドが誕生！

～初級ボランティアガイド認定書交付式～

3/14
御所浦

3月14日、「天草御所浦ジオパーク・初級ボランティアガイド認定書交付式」が御所浦島開発総合センターで行われ、1月から2月にかけて実施した3回の講座を受講し、同7日に行われた筆記・実地試験に合格した16人が認定書の交付を受けました。認定書を手にした濱本結さんは、「御所浦を訪れた人に化石や地質などのすばらしさを伝えたい」と話していました。今後は、5月中旬をめどに、希望する観光客などに対しガイドを行う予定です。



▲認定を受けたボランティアガイドの皆さん



やよい
永野 彌生 さん
(有明町大浦・95歳)

—— 毎日の楽しみは？
毎月、公民館で行われて
いる陶芸や大正琴、カラオ
ケなどの教室に参加するの

がとても楽しみです。中でも、大正琴教室には25年
ほど参加しており、今でも自宅から公民館まで元気に
三輪車をこいで通っています。

—— 健康の秘けつは？

3食を食べ過ぎずいろんな種類を食べること、そし
て、適度に体を動かすことです。性格的にもよくよ
しな楽道家で友だちも多く、何ととっても周囲の環
境がよいから長生きしているのだと思います。



わ かっさい
若っ喝采

しゅんすけ
笠松 俊介 さん (倉岳町浦・23歳)

老人ホームで介護の仕事をしています。趣
味はスポーツで、市内のフットサルチームに
所属。今年から県の1部リーグに昇格したの
で、上位を目指すためにも、練習でもっと技
を磨いて試合で活躍したいです。また、少し
でも地元に貢献できるように、秋祭りの獅子
舞メンバーとしてもがんばっています。

天草アーカイブズ収蔵 思い出写真館

～行き交う人々を
支え続ける瀬戸橋～

写真①



写真②



天草上島と下島を結ぶ瀬戸橋の歴史は、大正12(1923)年に建設された回転
式の橋(写真①)から始まります。その後、橋の老朽化に伴い、昭和33
(1958)年に電動開閉式の橋(写真②)が完成しますが、天草五橋の開通で交通
量が増加したため渋滞と故障を引き起こし、同49(1974)年に現在の高架橋が、
同53(1978)年には瀬戸歩道橋が建設され、現在に至っています。

※天草アーカイブズ(五和支所内)では、各種収蔵資料を市民の皆さんに公開
しています。資料の閲覧方法などの詳細は、同所☎5515へお尋ねください。

みんなの



広場

朝の清掃ボランティア活動
深海小学校(深海町)
6年 中元 紗央里
私たち、深海小学校の学校
自慢は、「朝の清掃ボランテ
ィア活動」です。私たちは、
毎朝15分間校内の草引きや落
ち葉はきを行っています。深
海小学校では、この清掃ボラ
ンティア活動を始めて約3年
になります。冬は特に寒く、
外に出たくないと言う人もた

ぼくのわたしの学校生活 自慢

くさんいますが、1年生から
6年生までのほとんどの人が
外に出て、草引きなどをして
います。それは、みんなが学
校をきれいにしようという気
持ちがあるからだと思いま
す。これからも、学校をきれ
いにしようという気持ち忘れ
ずに、清掃ボランティア活
動を続けていきたいと思いま
す。そして、この学校自慢を
深海小学校の伝統にしてい
きたいです。



草引きをする児童たち



おごそかに行われた“戴帽式”のようす

看護師を目指して切磋琢磨

本渡看護専門学校(亀場町)
1年 石本 沙織・川上 彩菜

本渡看護専門学校は、3年間で看護師に
なるために必要な講義と臨地実習を重ねな
がら、看護師国家試験合格を目指します。
私たち1年生は、「協力・努力・笑顔」と
いうクラス目標を入学時に立て、質の高い
ナースを目指し切磋琢磨しています。昨年
10月には、あこがれの“戴帽式”があり、看
護師のシンボルであるナースキャップをい
ただき、看護師になるという自覚と責任を
強く感じました。また、11月には、文化祭“秋
桜祭”で模擬店や健康体操などを先輩たち
と運営し、多くの地域の人たちともふれあ
い楽しい思い出になりました。まだ1年間の
学校生活しか経験していませんが、看護
師になる夢に向かってがんばっています。

豊かな人間性を 持った子どもに

大多尾保育所(新和町)

大多尾保育所(宮崎みだ子
所長・全園児27人)は、『じ
ょうぶで、優しく、豊かな人
間性を持った子どもの育成』
を目標としています。園では、
隣にある大多尾小学校と年に
数回、七夕飾りなどのふれあ
い交流を実施しています。1
月には、同校1年生の児童を

招き、お店屋さんごっこを
さくらマーケットを開催。
園児たちは、魚・お菓子・お
弁当や、廃材を利用して作っ
た商品などのお店を開店し、
「いらっしゃい、いらっしゃ
い」と元気のいいかけ声でお
客さんと呼び込みながら、楽
しいひと時を過ごしました。
これからも、少ない園児で
すが、地域の人たちに見守ら
れながら心豊かな子どもに育
てていきたいと思っています。



“さくらマーケット”楽しかったよ!!



真剣な表情で字の練習をする子どもたち

大きく羽ばたいてくれることを願って

本渡はまゆう保育園(諏訪町)

本渡はまゆう保育園(横山隆弘園長・全
園児190人)は、「地域と共に歩む」をモ
ットーに、今年で創立53年目を迎えます。
写真に写る園児の真剣な表情をご覧ください。
年長の子どもたちは、就学前に硬筆や
毛筆、水泳などに取り組んでいます。幼い
ころから行っている“絵本の読み聞かせ”が
この集中力の源です。笑顔だけでなく、子
どものこんな表情にもドキッとさせられま
す。園で培った生活習慣や思いやりと感謝
の心、ご家族から注がれるたくさんの愛情
などにより、身も心もこんなに大きく成長
しました。4月からはよいよ小学校とい
う新しいステージです。大きく羽ばたいて
くれる事を期待しています。



きら 煌めく人^{たち}

「元気よく観光案内」

〔写真左〕

田中マキさん（天草町高浜・29歳）

〔写真右〕

赤崎めぐみさん（天草町下田北・39歳）

田中マキさんと赤崎めぐみさんは、平成20年4月にオープンした下田温泉ぶらっとで観光案内を担当している。田中さんは、10年前からこの仕事に就き、赤崎さんは同館オープンの時の職員募集に「地元貢献できるなら、やってみようかな」と思い応募したのがきっかけ。観光案内は、訪れる観光客を相手に、宿泊先や観光スポットなどお客のニーズを聞いて案内しなければならぬが、電話での問い合わせも多く、「電話の場合は、顔が見えないので、声のトーンなどに細

心の注意を払っている」と田中さん。一方、赤崎さんは「下田温泉街を宣伝していくうちに熱くなって、つい方言が出てしまう」と話すが、方言が逆に親近感を与えるのか、そのあとの会話は、かえってスムーズに運ぶことも多い。しかしながら、館内に長時間居座っているマナーの悪い人たちを注意して、逆に言い返されたこともあり、いことばかりではない。それでも、観光案内のパンフレットを送っただけで、ていねいなお礼の手紙が届くこともある。また、田中さんはある観光客の方に「あなたに出会えて本当に良かった」と言われた一言が、今でもうれしい思い出として心に残っている。何も特別な対応をした訳ではないが、観光客にいい印象を持ってもらうことが、観光案内の最も大切なことかもしれない。5月8日と翌9日には「下田温泉祭」が開催される。多くの観光客が訪れるこの祭りに二人はふだんと変わらず、温かく、そして元気のある声で迎えることだろう。

ハッピーバースデー 今月で1歳になります



りな
本田 李南 ちゃん

亀場町亀川
父・智典さん
母・善子さん

龍星お兄ちゃん、優斗お兄ちゃん、これからもいっぱい遊んでね♡



ゆうま
赤尾 雄真 くん

志柿町
父・雄貴さん
母・千草さん

お姉ちゃん大好き♡たくさん遊んでね。



みのり
吉田 弥憲 ちゃん

今釜新町
父・博章さん
母・憲子さん

音に合わせてノリノリ♡みんなからの愛情に包まれて育ってます♪



いちご
船本 一吾 くん

佐伊津町
父・政志さん
母・和美さん

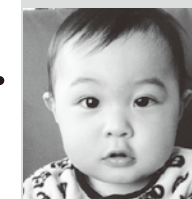
散歩が大好きな男の子です。元気に育ってね♡



こあ
岩崎 心空 ちゃん

牛深町
父・大地さん
母・朱里さん

おてんば娘♡じいちゃん、ばあちゃん、これからもよろしくね☆



せいはい
金子 成葉 くん

亀場町亀川
父・大地さん
母・美香さん

夢と希望に満ちたわが家の宝物♡のびのびすくすく大きくなあれ！



るか
松下 月環 ちゃん

本渡町広瀬
父・桂三さん
母・るみさん

いっぱい食べて大きくな～れ!!



りゅうと
村木 琉斗 くん

有明町赤崎
父・圭太さん
母・仁美さん

僕は、じーじのハコスカが大好き!! これからもいっぱいヤンチャするゾー☆



もち
松下 萌々 ちゃん

戸宇土町
父・健太さん
母・詩織さん

凜お姉ちゃん、大好き♡元気に明るく育ってネ♡

5月で満1歳になるお子さんを募集します！

●応募期限＝4月12日⑩まで（必着）。

●応募方法＝写真裏にお子さんの住所、氏名（ふりがな）、生年月日、性別、電話番号、コメント（30字以内）、保護者名（父・母）を記入し、〒

863-8631（住所記載不要）天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで（応募者多数の場合は抽選）とし、応募写真は返却しません。



皆さんからのお便りを募集します!!

「市政だより天草」では、市民の皆さんの身近であったできごとや、季節に思いをはせることなどのお便りを掲載するコーナーを、5月1日号から新たに設けます。

そこで、皆さんからのお便りを募集します。原稿は100字程度で、応募者多数の場合は選考のうえ掲載します。多くの皆さんからのご応募をお待ちしています。

※表記などを統一するため、趣旨を変えず文章を直すこともあります。

▶応募期限＝4月12日⑩まで（必着）。

▶応募方法＝寄稿文をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、性別、電話番号を記入し、〒863-8631（住所記載不要）天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。

掲載例

●桜の住人（●町）

先日、家族や友人と“お花見会”をしました。場所は、知る人ぞ知るお花見スポットである“自宅”。わが家の庭には桜の木が1本あり、毎年独自に開花を宣言しては、周囲にお花見会への招待をしています。静かにたたずむ1本だけの桜を楽しむのも“粋”ですよ！

●メタボリックダンサー（●町）

メタボリックシンジロームの女性の基準が変わりました。私は境界線でしたが、今回の改正で見事“当選”。この勢いで家での政権交代を成し遂げて、趣味のダンスと大好きなスイーツ（和・洋菓子）を思う存分堪能したいと思っています。

現代に息づく歴史の証

「市ノ瀬橋と石碑」(本町)

本町下河内には、石造りのめがね橋があります。広瀬川に架かるこの橋は、長さ22.2m・幅4.6mで、通称「市ノ瀬橋」と呼ばれています。この橋のそばにある石碑には、「明治十五年」と記されていますが、石碑が示す橋は同19年の洪水で流失しており、現在の橋はその後に建設されたものです。当時の記録によると、最初は土橋（木製の橋の上部を土で覆ったもの）を架ける計画でしたが、建設に必要な木材の調達が難しく、そもそも村民は土橋ではなく石橋の架橋を強く望んでいたため、当時の戸長・佐藤信邦が、県知事に石橋の架橋を願い出たようです。数少ない資料によれば、



▲苔むす姿が歴史を感じさせる市ノ瀬橋

同24年ごろに整備された県道とともに橋が建設されたと考えられます。

人々の強い思いからできたこの橋は、長い時を経た今も現役で、石碑とともに市の文化財に指定されています。

周囲の木々や清流に調和した美しい橋を、皆さんぜひご覧ください。

【編集発行】

熊本県天草市役所
総務部秘書課広報聴係
〒863-8631 天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-22-7016
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>
E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp



数年ぶりに本格的に「かぜ」をひきました。人間が旧型なので「新型インフルエンザ」ではなかったのですが、のどは激痛が走るし、目汁・鼻汁と大変でした。そのときばかりは、コマーシャルではありませんが劇薬にたよって「ウアオー」と吠えたい気分でした。【凡】

バンクーバー五輪・スピードスケート女子パシュートで、日本チームは惜しくも銀メダル。「この種目はひょっとして金メダルとれるかも」と思い、眠い目をこすりながら観戦。トップとの差はわずか0.02秒。距離にして約26cm。勝負の世界は本当に残酷だ。【走】

先日、「ピーヒョロロ、ピーヒョロロ」と鳴く、小さな青い鳥を見かけました。平年より8日ほど早い桜の開花が発表されたところです。名前は知らない鳥でしたが、春の訪れを告げるようなとても愛らしい鳴き声に、しばらく耳を傾け聞き入ってしまいました。【素】

ある日の工作中、ふと窓の外を見ると、ポカポカ陽気のいい天気。窓から差し込んできた暖かい日ざしが、とても気持ちがよく、思わず和んでしまいました。もうすっかり春ですね。こんな日は、外でのんびりとひなたぼっこをしたくなります。仕事を忘れて…。【葉】

地域に根ざす 郷土料理

VoL.12
河浦町

～宮野河内特産「アオサの天ぷら」～



寒の訪れとともに、宮野河内上平地区特産のアオサが出回ります。乾物や冷凍物で1年中味わうことができるアオサですが、この時季の生を天ぷらにして食べるとまた格別です。今回は生を使用していますが、乾物を戻して使用する時などじょうずに作るコツは水切り。さらしの布袋を使ってしっかりとしぼってください。

材 料 (作りやすい分量)

アオサ 300g
卵 2個
小麦粉 1カップ
塩 小さじ1
砂糖 大さじ2
揚げ油

作 り 方

- ①アオサとよく溶いた卵、小麦粉、塩、砂糖を混ぜる。
※このときに水は使用しないこと。油の中で散ってしまう。
 - ②一口大にまとめながら中温の揚げ油に落とし入れ、カラリとなるまで揚げる。
- ※イカ、エビ、干しエビなどを混ぜて揚げると、彩りもきれいでおいしくできます。

提供：市食生活改善推進員協議会

市のシンボル写真コンテスト特選作品

市民の皆さんに、“市のシンボル”に親しみを持ってもらうため、公共施設等に掲示することなどを目的に実施した写真コンテストには、市内外から127点の応募がありました。今号では、特選を受賞した作品を紹介します。



【市の花】はまぼう
磯崎房美さん(熊本市)



【市の木】あじの木
梅戸吉伸さん(倉岳町)



【市の鳥】かもめ
森 暉夫さん(本渡町)



【市の魚】鯛
川口泰雄さん(合志市)